

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年4月7日

【評価実施概要】

事業所番号	0970700332		
法人名	医療法人矢尾板記念会		
事業所名	グループホームかわせみ		
所在地	栃木県日光市平ヶ崎609-4 (電話) 0288-22-1221		
評価機関名	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会		
所在地	栃木県宇都宮市若草1-10-6		
訪問調査日	平成20年3月6日	評価確定日	平成20年4月7日

【情報提供票より】(平成20年1月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年5月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤7人, 常勤換算7人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリートRC造り 6階建ての2階部分
------	---------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おむつ代—55円~190円</li> <li>・おむつ処理代—30円~50円(持ち込みの場合)</li> <li>・水道光熱費—10,000円/月</li> <li>・日常生活品費—158円/日</li> <li>・教養娯楽費—158円/日</li> </ul>	
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	—	
食材料費	朝食	450 円	昼食	550 円
	夕食	550 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(平成20年1月25日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 87.4 歳	最低	81 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	見龍堂クリニックかわせみ、湯沢歯科医院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは長年同地で診療をしてきた母体法人のクリニックの2階部分を改築して開設された。近くには同法人の老人保健施設もあり、医療連携体制加算の指定は受けていないが、医師やリハビリスタッフから助言などももらいながら入居者の支援をしている。運営理念を全職員で作直したり、今回の自己評価を行っている段階でこんなことを取り入れてみたいといったアイデアが出されたりと、職員は前向きで、運営者、管理者もチームワークのよさを感じている。回覧を使って地域の方にホームの広報誌を見てもらったり、地域の行事に積極的に参加したりしながら、更に地域の方々に気軽に立ち寄ってもらえるホームを目指している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価の結果は運営推進会議にも報告し、評価結果を参考にしながら、ホームの現状や考え方も踏まえて改善に努めている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は、月1回のミーティング(職員会議)やケース会議の機会を活かしながら全職員で取組み、最終的に管理者がまとめた。自己評価の段階でも職員の取り組んでみたいことなどが出され、運営に活かしている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	入居者家族代表、地域住民代表、市役所職員、地域包括支援センター職員が委員になっている。ホームからは外出の状況や職員の研修参加状況など具体的に細かな報告をしており、そのことで委員からも具体的な質問がでている。また、介護教室の開催を検討してほしい旨の発言があるなど、双方向的な会議になっている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	電話や家族の訪問の際の報告のほか、年4回発行する広報誌を配布し、利用料の請求時に職員の手書きのおたよりを添えている。ホーム内には外出や行事の際のスナップ写真が多く飾られており、入居者ごとのアルバムも作っている。入居者の金銭管理は、立替金払いの仕組みを設けており、毎月レシートを添えて報告している。職員が変わったときは、家族の訪問の際などに紹介している。重要事項説明書にホーム、市、国保連の苦情等の受付窓口及びホームでの対応手順を明記している。ご意見箱を置いている。職員が要望などを聞いたときには申し送り時の報告や申し送りノートを活用して情報の共有に努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会には入っていないが、地域の方から誘いを受けて、お祭りやどんど焼き、そば打ちなどの地域行事に参加している。また、地域の回覧板で広報誌を回覧してホームを理解してもらうよう努めており、地域の方から理解が年々深まっている実感がある。地域活動としてのゴミ拾いや老人会への参加なども考えている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今年に入ってから運営理念を全職員で見直し、「相手を敬い、生きがいと安心のある普通の生活」「相互援助を通じ、その人を知ること追求」「継続は力」とした。また、より具体的な方策を今年目標として作成し、運営理念の実践に努めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念及び運営理念実践のための今年目標を全職員で作成していることから、理念、目標を共有しながら実践に取り組んでいる。唱和などは今はしていないが、事務スペースに運営理念、今年目標が掲示され、目にとまるようになっている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会には入っていないが、地域の方から誘いを受けて、お祭りやどんど焼き、そば打ちなどの地域行事に参加している。また、地域の回覧板で広報誌を回覧してホームを理解してもらうよう努めており、地域の方から理解が年々深まっている実感がある。地域活動としてのゴミ拾いや老人会への参加なども考えている。	○	地域の方に気軽に寄ってもらえるホームを目指している。クリニックを通過して2階のホームに上がるという構造特性はあるが、地域の理解が深まっていることを活かしながら、地域の方々の交流を更に深めていくことに期待したい。また、運営推進会議で介護教室の開催を期待する声なども上がっていることからホームの機能の地域への還元といったことにも期待したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果は運営推進会議にも報告し、評価結果を参考にしながら、ホームの現状や考え方も踏まえて改善に努めている。今回の自己評価は、月1回のミーティング（職員会議）やケース会議の機会を活かしながら全職員で取組み、最終的に管理者がまとめた。自己評価の段階でも職員の取り組んでみたいことなどが出され、運営に活かしている。		

グループホームかわせみ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者家族代表、地域住民代表、市役所職員、地域包括支援センター職員が委員になっている。ホームからは外出の状況や職員の研修参加状況など具体的に細かな報告をしており、そのことで委員からも具体的な質問がでている。また、介護教室の開催を検討してほしい旨の発言があるなど、双方向的な会議になっている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護保険事業所連絡協議会の役員などをしてきたこともあり、市とは連携を図っている。ホームの忘年会やクリスマス会のときに運営推進会議を併せて開催することで、市職員にもホームの様子を見てもらえる機会にもしている。		
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	電話や家族の訪問の際の報告のほか、年4回発行する広報誌を配布し、利用料の請求時に職員の手書きのおたよりを添えている。ホーム内には外出や行事の際のスナップ写真が多く飾られており、入居者ごとのアルバムも作っている。入居者の金銭管理は、立替金払いの仕組みを設けており、毎月レシートを添えて報告している。職員が変わったときは、家族の訪問の際などに紹介している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書にホーム、市、国保連の苦情等の受付窓口及びホームでの対応手順を明記している。ご意見箱を置いている。職員が要望などを聞いたときには申し送り時の報告や申し送りノートを活用して情報の共有に努めている。	○	今後、家族にアンケートをとってみたい、ホームからの情報発信の手段として電子メールも考えたりしている。また、職員の写真・プロフィールを掲示することなども予定されているので、家族との信頼関係を更に深めていく取組みとして期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	これまでに異動や退職はあるが、できるだけ変わる者同士で申し送りできるような時間が取れるようにしている。それが無理な場合はまわりの職員がフォローしながら入居者に影響が出ないように配慮している。		

グループホームかわせみ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の案内があったときには、管理者が指名するなどして研修に参加している。研修受講後は、報告書を作成し、ミーティングの時間に伝達するなどして研修内容の共有を図っている。内部勉強会、法人の勉強会などもある。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム協会に加入し、研修などにも参加している。また、新しい職員が入ったときには市内の他のホームに実習をお願いしたり、逆に他のホームからの実習を受け入れたりするなど連携を図っている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	申込があった時には、希望、困っていることや不安を聞き、本人にも事前にホームを見学してもらうことを勧めている。お試しなども希望があれば対応することを考えている。入居後は、電話で家族に状況報告や相談をしたり、座席の位置なども考慮しながら入居者間の関係づくりにも配慮して徐々に馴染めるように支援している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	運営理念に「相手を敬う」「相互援助」とあるように、入居者のできることや気持ちに配慮しながら一緒に行くことを大切にしている。職員からは、郷土料理や風習など入居者から教わることが多いという声が聞かれた。		

グループホームかわせみ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の希望の把握に努め、難しい場合は入居者のできることに注目しながら、個人記録や申し送りでの入居者の普段の会話・行動などから検討したり、家族から情報を得るなどして介護計画に活かすように努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者、家族の希望などを聞き、管理者（兼計画作成担当者）・その日の勤務職員でケース会議を開き検討して介護計画を作成し、家族に確認してもらっている。必要に応じて、法人内の医師や言語聴覚士などのリハビリスタッフのアドバイスなどももらっている。	○	センター方式のアセスメントを徐々に取り入れることも検討しているので、入居者の思いや意向を職員間や家族と共有しながら、その思いを実現するための支援に繋げていくような取り組みにも期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月を基本として定期的な見直しをしている。入居当初は1ヶ月、3ヶ月など期間を短めに設定して、より本人にあった計画の作成に努めている。入院した場合など、入居者の状態に変化があったときには随時見直しをしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制加算の指定は受けていないが、クリニックと同じ建物内にあることや隣地に介護老人保健施設がある特性を活かして、医師やリハビリスタッフとの連携を図り、支援に活かしている。入居者の自宅に職員と一緒に出掛けたりと柔軟な支援にも努めている。		

グループホームかわせみ


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医の確認をしている。当ホームと同じ建物内にある法人のクリニックに主治医を代える方が多く、受診には職員が付き添っている。その他の医療機関の受診は家族に対応してもらおうこととなっており、その際は家族と連携を図りながら適切な医療が受けられるよう配慮している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	一応の目安として、入浴が困難になった時にはホームでの生活が継続できるか話し合うこととしている。持病の関係でホームで最期を迎えた方もいるが、その時は家族に状況を随時報告しながらホームでの生活を支えた。このことは運営推進会議でも報告し、運営者はグループホームでの生活の意義の反面、対応の難しさも感じていることを伝えている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居時に「個人情報利用に関する同意書」を交わし、広報誌への写真掲載などにも配慮している。個人記録などは事務スペースで保管している。入居者に馴染みのある呼びかけ方をすることもあるが、家族には入居者の呼び方などについて、入居時に相談をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな一日の流れはあるが、入居者の希望によって買い物に出掛けたりと柔軟な支援に努めている。食事などもそれぞれのペースで急かすことなく、ゆったりとした時間の中で支援している様子がうかがえた。		

グループホームかわせみ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者それぞれのできることに配慮しながら、郷土料理のしもつかれ、干し柿なども一緒に作ったり後片付けをしたりしている。恵方巻きなど季節に応じたメニューにも配慮している。毎月1回程度の外食も取り入れている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	声かけなどにも気を配りながら、入浴が苦手な場合も週に2回は入浴してもらえるようにし、ゆったりとした入浴ができるよう支援している。自立度の高い方は夜間に入浴することもある。脱衣所から浴室に若干の段差があり、以前はスロープにしていたが、逆に転倒の危険があるとのことでスロープを外し、足元に赤色の目印をするなどの安全への配慮もしている。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理、包丁とぎ、プランターを使っての室内での園芸、書道、干し柿づくり、お手玉など様々な機会づくりをしている。駐車場でバーベキューや花火などをしたりもしている。今後、そば打ちなども一緒にやってみたいと考えている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、月に1~2回のドライブなど外出の機会をつくっている。入居者の希望にできるだけ柔軟に対応することとしており、入居者の自宅と一緒にいたりすることもある。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物の入口である1階がクリニックになっており、ホームのある2階にはエレベーターを使って上がる構造になっている。エレベーターには通常ロックがかかる仕組みになっているが、入居者の希望に応じて外に出られるよう配慮している。		

グループホームかわせみ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	同じ建物内のクリニックと合同で年2回の消防訓練をしている。地元の消防団に運営推進会議への参加を依頼し、参加は困難だが見学をさせてもらっていざというときの参考になりたいと言ってもらえるなど、連携を図っている。	○	いざというときに助けてくれる人を増やしたり、また地域ぐるみの防災意識の向上という意味でも、例えば消防訓練の際に近所の方にも参加を呼びかけてみたりして連携を深めていくことにも期待したい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は職員が交替でたてており、3ヶ月に1回程度同法人の老人保健施設の栄養士にチェックしてもらっている。食事摂取量を記録し、また必要に応じて水分摂取量、尿量のチェックなどをして適切な支援に努めている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	クリニックを改築した造りであるが、職員の手作りの造作物や入居者の作品、季節の草木などで家庭的な雰囲気を演出している。食事中はテレビを消すなど音に対する支援にも配慮をしている。日差しはロールカーテンやすだれなどで遮っている。また建物内に気になるような空気の様子や臭いなどはなかった。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の入口には目印も兼ねて、入居者ごとに異なるのれんがかかっていた。持ち込む家具の量などには個人差があるが、入居者それぞれの居室づくりをしている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。